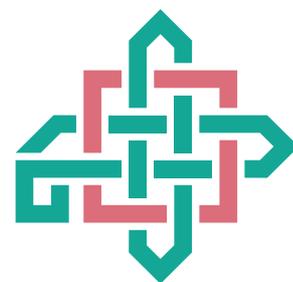


連携の絆を深め、輝く明日へ



ニュースレポート 中央会

NEWS REPORT CHUOKAI

No. 829

2025

4



北海道モーターサイクルショウ2025が
開催されました



女性リーダーインタビュー
帯広管工事業協同組合
理事長 山田 幸恵さん



支部だより (道南支部)

Contents

- 01 令和7年度 中央会本・支部 通常総会の日程／職員異動のお知らせ／新入職員紹介
- 02 外国人技能実習制度適正化講習会を開催しました／北海道中小企業青年中央会第3回青年部講習会を開催
- 03 令和6年度支部長懇談会を開催しました／令和6年度第2回情報発信検討委員会を開催しました
- 04 令和6年度北海道中小企業組合士会第2回研修会・交流懇談会が開催されました／東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会令和6年度第3回会長会議が開催されました
- 05 北海道モーターサイクルショー 2025 が開催されました／全国中小企業団体中央会からのお知らせ
- 06 令和6年度冬季(下期)賞与支給状況調査報告
- 08 女性リーダーインタビュー
帯広管工事業協同組合 理事長 山田 幸恵さん
- 10 北海道経済産業局からのお知らせ
- 11 2月の道内景況
- 14 支部だより
- 16 中小企業大学校旭川校からのお知らせ
- 17 中小企業基盤整備機構からのお知らせ

メールアドレスに関する調査のお願い

本会では、会員の皆様へ各種情報を迅速にお伝えするため、メールの活用を推進しています。つきましては、貴組合のメールアドレス及びご担当者のお名前をお知らせいただきたくお願い申し上げます。

なお、メールアドレスの調査はこれまでも実施していますが、より多くの会員のアドレスを把握させていただきたく、ご協力をお願いいたします。

次の事項を記載の上、メールまたは FAX でご連絡いただけるようお願いいたします。

※ 既にご回答されている組合は、返信不要です。

組 合 名	
組合アドレス ※文書担当	
ご担当者名	

※返信先：北海道中小企業団体中央会 企画情報部

(1)メール：cyousa@h-chuokai.or.jp

(2)F A X：011-271-1109

令和7年度中央会本部・支部の通常総会の日程が次のとおり決まりましたので、お知らせいたします。

	開催日	開催場所
本 部	6月5日(木)	札幌市／札幌ガーデンパレス
道南支部	5月20日(火)	函館市／ホテル函館ロイヤルシーサイド
胆振支部	5月20日(火)	室蘭市／中嶋神社蓬峽殿
上川支部	5月21日(水)	旭川市／アートホテル旭川
宗谷支部	5月22日(木)	稚内市／稚内商工会議所
空知支部	5月26日(月)	岩見沢市／岩見沢平安閣
網走支部	5月28日(水)	北見市／ホテル黒部
釧路支部	5月29日(木)	釧路市／アクアベールくしろ
後志支部	5月下旬予定	小樽市／ニュー三幸小樽
十勝支部	6月2日(月)	帯広市／ホテル日航ノースランド帯広

本部から支部へ 異動職員紹介／新入職員紹介

異動職員



氏 名 笹島 大河(ささじま たいが)

異動前 連携支援部 主事

異動後 網走支部 主事

ご挨拶

この度、本部連携支援部から網走支部へ着任いたしました。

本部では、1年2か月という非常に短い期間でしたが、組合の皆様には多くのことを学ばせていただき、大変お世話になりましたことを心より御礼申し上げます。

網走支部におきましても、組合の皆様のために粉骨砕身、努力していく所存でございますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

新入職員



氏 名 坪内 勝也(つぼうち かつや)

所 属 連携支援部

出身地 福井県 坂井市

趣 味 旅行

今後の抱負

3月から勤務させていただいております、坪内と申します。至らない点も多々あるかとは思いますが、道内企業振興のために、一日でも早く皆様のお役に立てるよう精進して参りますので、よろしく願いいたします。

外国人技能実習制度適正化講習会を 開催しました

2月18日(火)、札幌ガーデンパレスにおいて、外国人技能実習制度適正化講習会を、およそ50名参加のもと、行政書士・社会保険労務士の渡 康 氏を講師に2部構成で開催しました。

第1部では、「育成就労制度移行に向けた留意点と実務対応について」と題し、同制度の概要や育成就労計画の認定基準、管理支援機関の許可要件など、制度移行への留意点と実務上の対応内容について説明がありました。

第2部では、「実習実務者の労働環境における労務管理上の注意点について」と題し、労災事例や労働基準監督署の指導事例を交えながら、労務管理上の留意点等について説明があったほか電子申請が義務化された手続き内容などについても触れられ、今後実施される制度移行に対応するべく、参加者の皆さんは真剣に耳を傾けていました。



講師の渡氏



第3回青年部講習会を開催

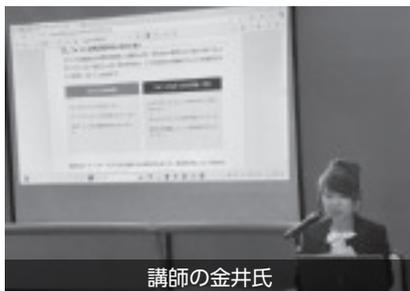
2月21日(金)、ホテルノースシティにおいて、北海道中小企業青年中央会(岡田和也会長、会員50青年部)が第3回青年部講習会を開催しました。

「PowerPoint講習会～レイアウトデザイン」と題し、株式会社フレックスジャパンより金井みゆき氏を講師に迎え、ビジネスの現場でよく利用されるPowerPointについて、スライド作成の基本から応用まで学びました。日常的に業務で多用するPowerPointですが、スライドの用途に合わせて適切なレイアウトを意識することや箇条書きでわかりやすくデザインすることなど、より訴求力のあるスライドとするために必要なポイント等について説明があり、普段学ぶ機会の少ないオフィスソフトやデザインについて、参加者は真剣な表情で講師の話に聞き入っていました。

講習会終了後には懇談会が行われ、西松副会長の乾杯に始まり、その日学んだことだけにはとどまらず、日頃の青年部の活動などの多彩な話題で盛況のうちに終了しました。



挨拶する岡田会長



講師の金井氏



令和6年度支部長懇談会を開催しました

2月25日(火)、札幌ガーデンパレスにおいて、支部長懇談会を開催しました。

当日は、会長、副会長及び9支部の支部長または副支部長が出席し、高橋会長より「道内中小企業・小規模事業者を取り巻く状況は、次世代半導体製造工場立地やインバウンドによる活況など、明るい話題がある一方、エネルギー・原材料価格高騰の長期化、金融情勢の不安、防衛的な賃上げへの対応など、大変厳しい。この懇談会では、各地域や業界の現状について生の声をお聞かせいただきながら、情報を共有していただきたい。」と挨拶がありました。次に事務局から、「道内月例景況調査結果の推移」、「令和6年度労働事情実態調査結果の報告」、「令和6年度中小企業団体全道大会決議に伴う要望実施状況の報告」について説明があり、各支部より、地域の経済環境や中小企業・組合の現状、課題、要望事項等について、報告と意見交換が行われました。報告では、「価格転嫁に関して、原材料価格は行えているものの、労務費等については行えていない。」との声や「人手不足によりイベントの開催に要する人員や宿泊先の受け入れ不足が発生している。」との声が上がりました。また、「人手不足の原因として、求職者の仕事への考え方が変わってきているのではないか。」との意見が出るなど、地域の実情について、本部・支部間で情報共有を図りました。



令和6年度第2回情報発信検討委員会を開催しました

3月7日(金)、北海道中小企業会館において、第2回情報発信検討委員会が、委員6名・事務局4名参加のもと開催されました。

同委員会は、組合関係者及び関係機関の委員で構成し、情報発信のあり方やコンテンツの改廃についての検討などを行います。2回目の今回は、前回(令和6年12月開催)の内容を踏まえ、意見・提案のあった事項の進捗状況等について再度検討が行われました。

事務局からは、前回の委員会で提案のあった女性リーダーインタビューの掲載継続等が報告され、委員からもさらなる提案・感想や意見が述べられました。

また、2月号に封入した「ニュースレポート中央会に関する意向調査」の集計結果も報告され、今後の電子化等についても活発な意見交換が行われました。

同委員会での議論を参考に、今月から誌面を少々リニューアルしております。見やすくわかりやすい情報発信を心がけて参りますので、ぜひご感想やご意見をお寄せください。



令和6年度第2回研修会・交流懇談会を開催

3月5日(水)、札幌ガーデンパレスにおいて、北海道中小企業組合士会の令和6年度第2回研修会・交流懇談会を開催し、21名が参加しました。

本研修会は、2部構成で行われ、はじめに北海道中小企業組合士会 田守 久美子理事(帯広工業団地協同組合 総務主任)より、「帯広工業団地協同組合とは～活動と課題～」と題し、同組合の概要や活動内容、抱える課題、今後の展望などについて、事例発表が行われました。

第2部では、弁護士法人千葉総合法律事務所の中小企業診断士・社会保険労務士 佐々木 洵 氏より「財務戦略・資産運用セミナー」をテーマにした講演が行われ、組合の経営体質強化に必要な財務戦略としての各種制度等の活用方法や、福利厚生としての従業員個人の資産形成支援の重要性、ライフプラン等に関する基本的な考え方、新NISA制度などの資産形成をサポートする各種制度などについて説明がありました。

研修会に続いて行われた交流懇談会では、来賓として出席した本会上原事務局次長の乾杯で開宴し、出席者による活発な情報交換が行われ、盛況のうちに終了しました。



挨拶する鈴木会長



事例発表した田守理事



講師の佐々木氏

令和6年度第3回会長会議を開催

3月10日(月)、かでの2・7において、東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会の令和6年度第3回会長会議を開催し、各県の会長・事務局を含めた14名が出席しました。

会議では、昨年秋田県で開催された研修交流会等の事業活動報告と令和7年度に福島県で行われる研修交流会の内容(10月開催予定)のほか、組合士の活性化に向けた意見交換などが行われ、活発な議論の中で、今後のさらなる制度活用に向けた多様な視点や考え方が共有されました。

※令和7年度研修交流会の案内は、詳細が決定次第、北海道中小企業組合士会の会員の方へご案内いたします。



3月8日(土)～9日(日)の2日間にわたり、北海道最大級のモーターサイクルイベント、北海道モーターサイクルショー 2025 がアクセスサッポロで開催されました。

同イベントは、道内のバイクユーザー拡大や安全運転の啓蒙普及のほか、業界の活性化と社会的認知度向上を目的に、毎年3月に同会場で開催しており、長いオフシーズンがある道内ライダーからは、春の訪れとともに新たなモーターサイクル・シーズンの始まりを告げるイベントとして人気を博しています。

今年は、「二輪車のある北海道ライフの提案を通して、二輪文化と市場の発展等を図る」をテーマに開催。道内外から二輪車を扱う企業や自動車学校など約60社・団体がブースを出展し、2025年ニューモデルを中心とした車両とアクセサリ等関連商品の展示・販売のほか、事故防止に関する情報発信や免許取得に関する相談コーナーなども設置され、モーターサイクルカルチャーの魅力を一度に体験できる会場構成で、バイク愛好家を中心に多くの来場者で賑わいました。

次回開催時には、是非、足を運んでみてはいかがでしょうか。



INFORMATION

全国中小企業団体中央会からののお知らせです

～令和6年度版先進組合事例抄録のご紹介～

全国中央会では、中小企業・小規模事業者や組合等連携組織が、新たな事業活動への挑戦や組織体制の見直し等を行う際の参考となるよう、知識や経験、ノウハウの移転・活用につなげることを目的に掲げ、都道府県中小企業団体中央会と連携し、課題解決等に先進的に取り組む組合活動事例について調査・分析、収集・普及を行っております。

この度、令和6年度版の抄録が発行されました。全国中央会のホームページでも公開しております。北海道からは、ニュースレポート中央会2月号でご紹介した「OKHOTSK FOOD CONCERTO 協同組合」が掲載されておりますので、ぜひご覧ください。



全国中小企業団体中央会 先進組合事例抄録

<https://www.chuokai.or.jp/index.php/manuals/caseabstract/>



冬季(下期)賞与支給・予定調査結果

調査結果のポイント

I 調査の概要

- 調査目的** 道内の中小企業・小規模事業者における冬季(下期)賞与の支給実態を把握し、中小企業・小規模事業者の経営や労働の事情を把握するために実施する。
- 調査対象** 本会会員組合に加入する中小企業・小規模事業者 1,500 事業所
- 調査期間** 令和6年12月～令和7年1月
- 回答事業所数及び内訳(従業員規模、従業員の雇用形態、労働組合の有無)**
 - 回答事業所数 273 事業所(回答率 18.2%)
 - 事業所の内訳 従業員規模別に見ると、従業員数 30 人未満の事業所が 68.5%、従業員のうち正社員の比率は 74.4%であった。
また、労働組合のある事業所は、7.7%であった。

[従業員規模別]

業種	業種別比率	1人～4人	5人～9人	10人～29人	30人～99人	100人～300人	事業所合計数
製造業	30.8%	6	13	28	32	5	84
		7.1%	15.5%	33.3%	38.1%	6.0%	100.0%
非製造業	69.2%	35	33	72	42	7	189
		18.5%	17.5%	38.1%	22.2%	3.7%	100.0%
全業種	100.0%	41	46	100	74	12	273
		15.0%	16.9%	36.6%	27.1%	4.4%	100.0%
		68.5%			31.5%		100.0%

[従業員の雇用形態]

業種	雇用形態	正社員	パート タイマー	派遣	嘱託・ 契約社員	その他	合計
製造業		71.3%	12.5%	3.6%	8.3%	4.3%	100.0%
非製造業		81.9%	7.6%	1.0%	6.8%	2.7%	100.0%
全業種		74.4%	12.5%	1.1%	8.0%	4.0%	100.0%

[労働組合の有無]

業種	有無	労組あり	労組なし	合計
製造業		8	76	84
		9.5%	90.5%	100.0%
非製造業		13	176	189
		6.9%	93.1%	100.0%
全業種		21	252	273
		7.7%	92.3%	100.0%

II 調査結果の概要

1 冬季賞与支給の有無

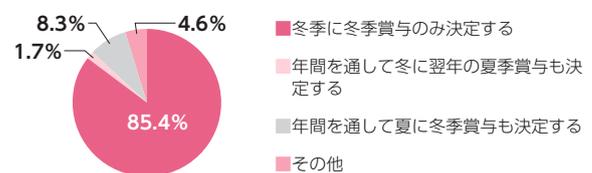
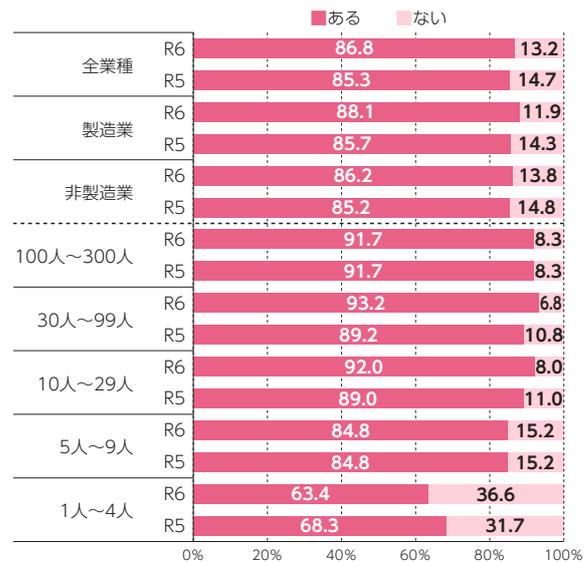
賞与を支給した事業所は、全体の 86.8%(前年度対比 +1.5 ポイント)となった。

業種別では、製造業が 88.1%(前年度対比 +2.4 ポイント)、非製造業が 86.2%(前年度対比 +1.0 ポイント)となった。

従業員規模別に見ると、「30人～99人」が 93.2%(前年度対比 +4.0 ポイント)となり、次いで「10人～29人」が 92.0%(前年度対比 +3.0 ポイント)、「100人～300人」が 91.7%(前年度同)、「5人～9人」が 84.8%(前年度同)、「1人～4人」が 63.4%(前年度対比 △4.9 ポイント)となった。

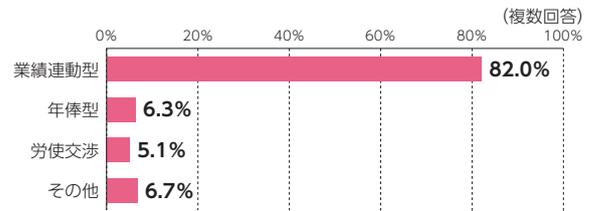
2 支給の決定時期

賞与支給の決定時期は、85.4%の事業所が「冬季に冬季賞与のみ決定する」という方法をとっている。次いで「年間を通して夏に冬季賞与も決定する」が 8.3%、「年間を通して冬に翌年の夏季賞与も決定する」が 1.7%、「その他(春闘で決定する、売り上げがあるときに支給があるなど)」が 4.6%となった。



3 支給額の決定方法

支給額の決定方法は、「業績連動型」が82.0%と最も多く、次いで「年俸制」が6.3%、「労使交渉」が5.1%、「その他(基本給を基に定率支給、年齢を基準に役職を加味など)」が6.7%となった。



4 正社員の平均支給月数と平均支給額

平均支給月数は、全業種で1.7か月(前年度同)となった。

また、平均支給額では、全業種で414,312円(前年度対比+15,806円)となり、業種別では、製造業で342,713円(前年度対比+8,412円)、非製造業で454,845円(前年度対比+19,696円)となった。

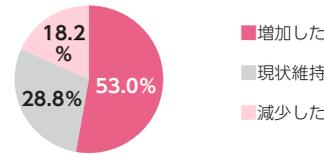
(単位：か月、円)

業種	年度	平均支給月数	平均支給額(正社員1人あたり)
全業種	令和6年度	1.7	414,312
	令和5年度	1.7	398,506
製造業	令和6年度	1.5	342,713
	令和5年度	1.5	334,301
非製造業	令和6年度	1.9	454,845
	令和5年度	1.8	435,149

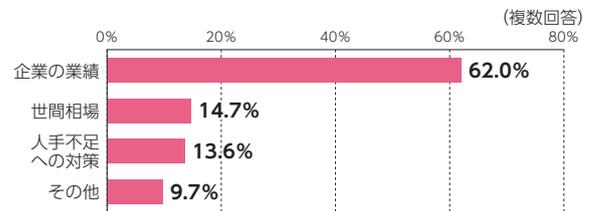
※平均支給額は、今・昨年度において冬季賞与を支給している事業所の正社員1人あたりの加重平均。

5 正社員への支給額の変動

正社員への賞与支給額は、「増加した」が最も多く53.0%、次いで「現状維持」が28.8%、「減少した」が18.2%となった。



変動した理由として、「企業の業績」が62.0%、次いで「世間相場」が14.7%、「人手不足への対策」が13.6%、「その他(「増加した」→ベースアップのため、「減少した」→基本給の高い者が退職したため等)」が9.7%となった。

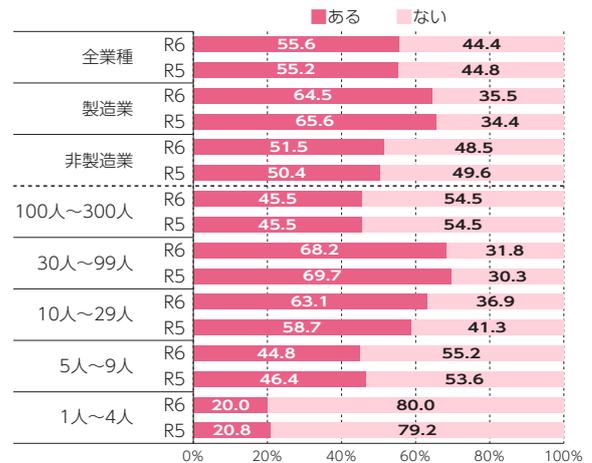


6 正社員以外の常用労働者への支給の有無

正社員以外の常用労働者(パートタイマー・嘱託など)へ賞与を支給した事業所は、全体で55.6%(前年度対比+0.4ポイント)となった。

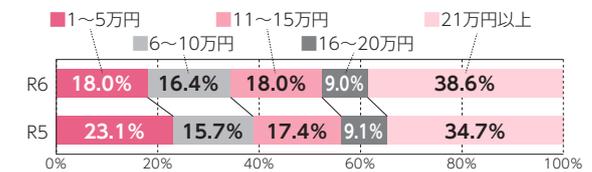
業種別では製造業が64.5%(前年度対比△1.1ポイント)、非製造業が51.5%(前年度対比+1.1ポイント)となった。

また、従業員規模別では、「30~99人」が68.2%(前年度対比△1.5ポイント)と最も多く、「1人~4人」が20.0%(前年度対比△0.8ポイント)と最も少なかった。



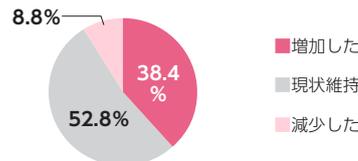
7 正社員以外の常用労働者への平均支給額

正社員以外の常用労働者(パートタイマー・嘱託など)への平均支給額は、「21万円以上」が38.6%(前年度対比+3.9ポイント)と最も多く、次いで「11~15万円」が18.0%(前年度対比+0.6ポイント)、「1~5万円」も同率で18.0%(前年度対比△5.1ポイント)、「6~10万円」が16.4%(前年度対比+0.7ポイント)、「16~20万円」が9.0%(前年度対比△0.1ポイント)となった。

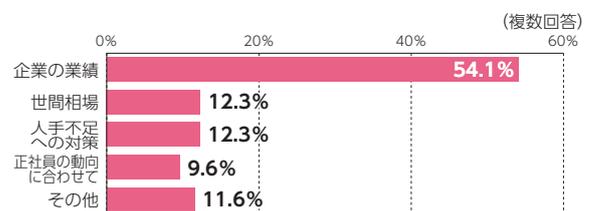


8 正社員以外の常用労働者への支給額の変動

正社員以外の常用労働者(パートタイマー・嘱託など)の賞与支給額の変動は、「現状維持」が52.8%と最も多く、次いで「増加した」が38.4%、「減少した」が8.8%となった。



変動理由としては、「企業の業績」が54.1%と最も多く、次いで「世間相場」「人手不足への対策」が同率で12.3%、「正社員の動向に合わせて」が9.6%、「その他」が11.6%となった。



VOL.16 帯広管工事業協同組合 山田 幸恵 理事長

第16回目は、帯広管工事業協同組合の理事長、山田幸恵さんです。様々な経験をされた学生時代から、現場一筋で働かれた職員時代、そして組合理事長に就任した現在まで、これまでの歩みを終始柔らかい笑顔でお話ししてくださいました。



帯広管工事業協同組合

理事長 **山田 幸恵**さん

昭和52年設立、帯広市の上下水道工事等の共同受注などを行う帯広管工事業協同組合の理事長。理事長には平成30年より就任。組合員である株式会社竹中配管の代表取締役を務める。

- ・株式会社竹中配管 代表取締役
- ・帯広管工事業協同組合 理事長

|| 現場が身近にあった幼少期～アラスカでの青春期 ||

株式会社竹中配管の創業者である父のもとで、幼い頃から常に水道管の修理の様子など、現場を間近で見してきました。高校も工業系の学校に通い、当然のように父の会社に就職するものだと思っていました。しかし、高校3年生の2月に父にそのことを打ち明けると、「(竹中配管に)就職したいなんて聞いてない」と、きっぱり断られてしまいました。

今後の進路を悩む中で、元々家族がホストファミリーとして海外の留学生を受け入れていたこともあり、アラスカのシニアハイスクールに一年間留学に行くことにしました。

留学先では、マーケティングやタイピングなどを英語で学びました。それを活かして帰国後は、市役所でのアルバイトや百貨店でのタイピングの仕事を経験しました。

|| 家業を引き継ぐ～理事長への就任 ||

帰国後しばらくして、当社に欠員が出たこともあり、とうとう入社に至りました。入社後は、3年前に代表取締役に就任するまで、基本的にずっと現場で、設計や施工管理の業務に従事していました。現在でも、帯広市の市営住宅の現場を担当するなど、現役で業務を行っていますし、やはり、現場に出ている方が、自分に合っていると思っています。また、つらい時期も辞めずに働いてくれている社員には何より感謝しています。

組合理事長に就任したのは平成30年ですが、理事長は会社の代表とはまた違う難しさがあると感じています。組合の代表として、自分の会社のことだけを考えるはいられないですし、責任もあります。そんな中でも色々相談に乗ってくれた副理事長の存在は、自分の支えになりました。



帯広市の水を守るのが、 私たちの使命です。



|| 組合の強みが活かした能登半島地震での災害対応 ||

理事長に就任して印象に残っていることとして、令和6年1月に発生した能登半島地震での災害対応が挙げられます。地震発生後1か月ほど経った1月末頃、日本水道協会から帯広市に職員派遣の依頼がきました。4日間ほどで職員を派遣しなければいけないというタイトな日程でしたが、何とかして組合として職員を派遣したいと考え、15名ほど派遣する準備を整えることができました。これも日頃、組合員同士が協力し連携を図っている管工事組合ならではの事なのではないかと考えています。

困難はほかにもありました。北陸のような寒冷地は水道管が地中深い位置にあるため、その工事ができるのは東北や北海道など、同じく寒冷地の事業者に限られたのですが、地中深く土を掘り進めるためには専用の機械を用意する必要性がありました。最初は、現地の状況も分からず、短期間で機械も揃えるとなるとかなり難しいのではないかと考えていましたが、前年の12月に行われた北海道管工事業協同組合連合会の理事会の中で、釧路市管工事業協同組合の阿部聡理事長と災害時の対応システムの構築について話し合っていた経緯があり、それがきっかけで、同組合が予め押さえていた機械を貸してくれることになりました。これにより、迅速な対応を実現することができました。

日頃から組合員同士、また、組合同士のつながりには自負があり、このようなつながりがあったからこそ実現した災害対応だったのではないかと思います。

|| 今後の目標～帯広市の水を守るために～ ||

数年前から、帯広市の農村地区が、新たに当組合の管轄となりました。帯広は言わずと知れた農業王国ですので、隣の家まで行くのに1kmというような場所もあります。そういったところまで水をしっかりお届けする責務があるわけですが、近年水道管の老朽化や破損が頻発しています。予算も限られている中で、市とも連携しながら、どのような維持管理のシステムを構築し、「安心・安全」な水の供給ができるかなどが、これからの課題であると感じています。

市内の水を守ることが私たちの使命ですし、職員も同じ使命感を持って働いてくれていると思います。これからも、農村地区の1軒1軒にまで、しっかりと水を届けられるように努めていきたいと思っています。

*おわりに

災害対応のエピソードが印象的でした。組合・組合員の協力はもちろんのこと、山田理事長の人柄や長年の現場経験があってこそ実現した対応だったと感じました。

北海道経済産業局からのお知らせです

～補助金・税制等をお探しの皆様へ～ 支援メニューガイドブックのご紹介

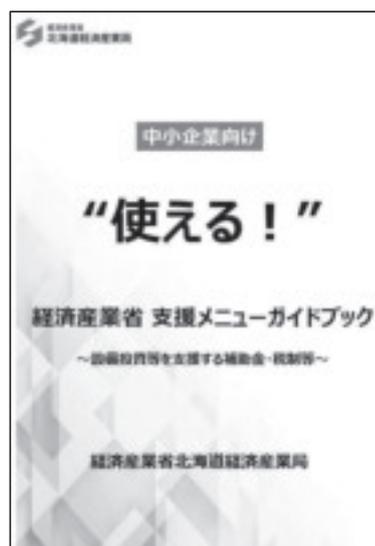
経済産業省北海道経済産業局では、中小企業・小規模事業者等の設備投資や国内外向け販路開拓等をサポートするため、「**中小企業向け“使える！”経済産業省支援メニューガイドブック**」を作成しています。

補助金や税制などについて簡潔にまとめており、手軽に使えるハンドブックです。

事業組合等がご活用いただける制度も記載されていますので、是非ともご一読ください。

～掲載施策例～

- ・ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金
- ・サービス等生産性向上IT導入支援事業
- ・中小企業省力化投資補助金
- ・小規模事業者持続化補助金
- ・エネルギー利用最適化診断事業
- ・DX認定制度
- ・事業承継・M&A補助金
- ・北海道よろず支援拠点



※掲載されている公募スケジュール等のうち、未定のものについては、適宜随時更新します。

○経済産業省北海道経済産業局ホームページ

中小企業向け“使える！”経済産業省支援メニューガイドブック

<https://www.hkd.meti.go.jp/hoksr/guidebook/index.htm>



【北海道経済産業局 窓口】

総務企画部 企画調査課 TEL：011-709-2311（内線：2520、2521）

E-mail：bzl-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

2月の道内景況

情報連絡員レポート

物価高騰は組合運営にも影響。地元客獲得のための様々な取組も。

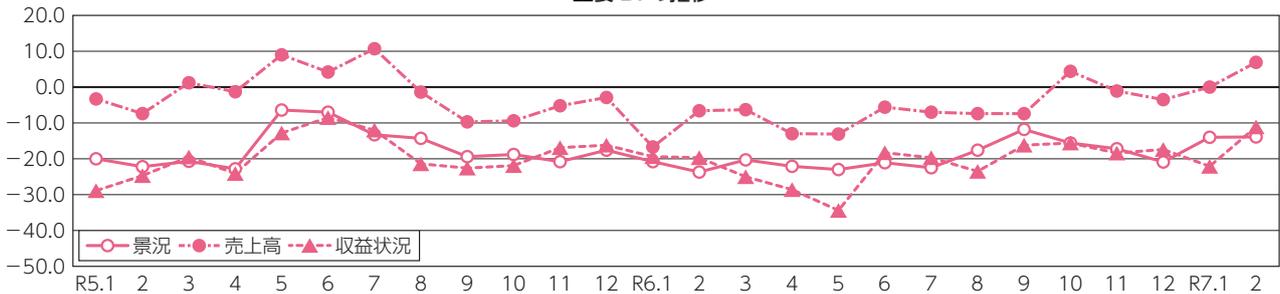
概況

前年同月との比較では、「売上高」は増加し、「景況」、「収益状況」は減少した。

1月から2月の推移では、「売上高」、「収益状況」は増加し、「景況」は横ばいであった。

情報連絡員によると、製造業では、円安の影響で一部収益の改善がみられるものの、依然として物価高騰の影響により収益が低迷しているほか、業種によっては、受注したものの人手不足による機会損失などが最大の課題となっているとの声が寄せられた。非製造業では、製造業と同様に物価高騰による影響や組合員の事業活動が減少。さらには組合を脱退する組合員が出てきているとの報告があった。一方で、プレミアム商品券や参加ポイントの活用により、地元客の購買意欲を促しているとの報告もあった。

主要DIの推移



景況天気図 (前年同月比)

	全業種			製造業			非製造業			天気図の見方 各景況項目について調査月と前年同月を比較して、「増加」(または「好転」)したという回答(構成比)から「減少」(または「悪化」)という回答(構成比)を差し引いた値(DI)をもとに作成。天気の表示は凡例のとおりです。
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比	
業界の景況	△14.0	△13.9	0.1 ↗	△24.1	△15.4	8.7 ↗	△8.8	△13.0	△4.2 ↘	天気: 曇り
売上高	0.0	6.9	6.9 ↗	△10.3	3.8	14.1 ↗	5.3	8.7	3.4 ↗	天気: 曇り
収益状況	△22.1	△11.1	11.0 ↗	△24.0	△8.0	16.0 ↗	△21.1	△13.0	8.1 ↗	天気: 曇り
販売価格	29.1	20.8	△8.3 ↘	20.7	15.4	△5.3 ↘	33.3	23.9	△9.4 ↘	天気: 曇り
取引条件	△7.0	△6.9	0.1 ↗	3.4	△3.8	△7.2 ↘	△12.3	△8.7	3.6 ↗	天気: 曇り
資金繰り	△7.0	△2.8	4.2 ↗	△10.3	△3.8	6.5 ↗	△5.3	△2.2	3.1 ↗	天気: 曇り
雇用人員	△16.3	△19.4	△3.1 ↘	△13.8	△19.2	△5.4 ↘	△17.5	△19.6	△2.1 ↘	天気: 曇り

製造業

食料品

- 流氷到来時期であり、沿岸漁業は3月12日まで休漁中。
- 水産加工場は、冷凍保存しておいた帆立を使用し、稼働。

(網走)

- 2月に入ってから売り上げは減少。原材料、光熱費、物流費、人件費の高騰によりさらに収益は悪化している。

(全道)

味噌・醤油出荷量

(前年対比)

味噌出荷量	道内単月出荷量(令和7年1月)	102.1%
	道内累計出荷量(令和6年1月~12月)	96.1%
	全国累計出荷量(令和6年1月~12月)	97.4%
醤油出荷量	道内単月出荷量(令和7年1月)	95.4%
	道内累計出荷量(令和6年1月~12月)	95.7%
	全国累計出荷量(令和6年1月~12月)	99.7%

- 令和7年1月の単月は、味噌は前年対比増であったが、醤油は低調であった。

- 米高騰による備蓄米の放出が需給緩和につながるか、我々の業界では価格の推移を含めて注視している。

(全道)

- 依然として、加工原料のイカの不漁、円安による原料・資材価格の値上げ、エネルギーコストの上昇により、薄利ではあるが雇用維持に努めている。また、日常の食料品の価格高騰により消費者の買い控えが進み、消費低迷している。

(函館)

木材・木製品

- 2月のトドマツ原木の工場への入荷は、前月同様落ち着いている。市況については在庫が不足している状況がなく、年度末を見通し、対象の増加傾向にあり、保合で推移している。国有林材のトドマツ一般材については、全道で平均的に荷動きが活発化している。カラマツについては全く荷動きがなかったが、カラマツ原木については東京の商社が韓国向けに函館港から輸出をしてお

り、今後、苫小牧港の積み荷場所の空き状況によっては、札幌圏のカラマツも購入意欲を示しているが、国有林では雪の影響で除雪に戸惑っているようで、カラマツの販売を見合わせた。また、先月まで木質バイオマス原料については、順調に集荷されており、価格も高止まりの傾向から下がり気味で推移していたが、ここにきて値上がりしている。

- トドマツ製材市況は、先月に引き続き景気後退等の影響により、新規住宅需要が前月に比べ減少しており、回復することは不可能に近い。建築用材については絶不調であるが、非住宅、土木資材については多少の動きがある。価格は弱気配～保合の状況にあり、カラマツラミナについても、減少傾向で推移しており、市況はカラマツ、エゾ・トドマツは弱含みが見込まれる。なお、本州のスギが市況に入り込み、道内の市況を圧迫しつつあり、業界内では脅威に感じている。紙原料は、不足気味で原材料価格が上昇していたが、全体的に下降気味である。(全道)

- ほぼ低空飛行状態を維持している。
- 上場企業の業績が好調な半面、中小企業への経済効果は相変わらず薄い。しかし、GDPの上昇記事を見る限り、少しずつではあるが国内景気は回復方向へ向いているのだろう。次年度の経済回復に期待する。(十勝)

一般機器

- 全体的に動きが良くない。
- 中小企業・中低所得者向け景気対策、物価高騰対策の早期実施。健康保険料減額へ75歳以上も3割負担を原則とし、効果のない無用な医療費の削減を図る。がん治療など必要な高額医療費の引上げを止める。所得税減税の実施。米等の食料品・生活必需品の消費税減税の実施。電気料金やガソリン・灯油等の補助拡大・期間延長実施等が必要になっている。(札幌)
- 年度末の駆け込み需要は少ない。防災用の薬剤がほぼ中露からの輸入のため、入荷できない状況が続いており、素材の大幅な値上げの話がきている。(全道)

その他

- 製紙連の2025年需要予測によると、段ボール原紙0.5%減・紙器用板紙1.5%減とのことで4年連続の前年割れである。インクやフローレンなどの補材や路線便の輸送費が4月1日からの値上げになりそうだ。段ボールケースは値上中だが、大手メーカーの動向がまばらで不安が残る。原紙の値上げが秋ごろから始まりそうだ。(全道)
- 昨年と比べ砂利の販売価格は上昇しているが、燃料費や人件費、運賃の上昇などにより、収益が低迷している。
- 新幹線工事等に要する生コン用砂については、天塩港から石狩湾新港や瀬棚港に船で運搬しているが、天塩港の漂砂問題により運搬に支障が出ており、今春以降のしゅんせつ工事に期待している。
- エネルギー高騰対策、賃金アップへの支援が必要と考える。(全道)
- 造船業界は、予想以上の円安効果で造船所各社は収益改善され、手持ち工事量も3年程度受注した。見通しは明るいが人手不足が最大の課題で、解消に向けた設備投資を行っている。中小企業事業所については、まだまだ先が見えていない。(室蘭)

非製造業

卸売業

- 年明け1月10日(金)に当組合・新年交礼会(24名出席)を開催した。
- 帯広の大雪災害について、新聞・テレビ報道で既にご承知のことと思うが、2月3日(月)夜～2月4日(火)午後にかけて、十勝は

大雪となり、帯広市の12時間降雪量が観測史上・全国最大124センチを記録。経済活動などは終日停止。幸い組合員(事業所)には物的・人的な被害はなかったものの、物流などに数日間、大きな影響が出た。(帯広)

- 組合員からは、原材料価格上昇により徐々に経営を圧迫し、今年度末にて脱退を決断した組合員もいる。(全道)
- 4月の新年度に向け、鋼材資材価格の高騰に伴うお願いが出てきている。(全道)

小売業

- 前年比較 物販95.1%、金融93.4%
- 2月は冬の一大イベントである旭川冬まつりが開催され、延べ82万3千人が来場した。海外からの観光客は増加したものの、来場者数は昨年より9万2千人減少したとの報告であった。駅前の大型商業施設と飲食店は賑わっているが、地元市民の消費では、例年に比べ温暖で積雪も少ないことから、冬物商品の需要が伸びていない。業種別の前年比では、衣料品系が84%、家電・家具・仏具が86%と売上額の大きい業種が落ち込み、燃料は、単価が上がっても暖冬で需要が伸びず94%であった。(旭川)
- 2月4日、帯広では降雪124センチと過去最多を記録した。帯広市内をはじめ十勝管内では、道路の除雪が追い付かず、市民生活を直撃した。公共の交通機関も運休が相次いで、路線バス等は2月6日まで全線運休、7日より一部運行再開し、2月19日、大雪以来16日ぶりに全線運行再開した。小中学校・高校は、2月6日まで全校休校、7日は一部の学校のみ再開し、全校が再開したのは10日であった。今回の大雪で従業員が出勤することができず、多くのお店や企業が臨時休業となり、当社でも半分以上の社員が出勤できず、営業時間の短縮を行った。最後に、この大雪の中、雪をかいて歩いて出勤された皆さんへ敬意を表したい。(帯広)
- 例年、さっぽろ雪まつりの時期には日本人観光客も増えるが、今年は客足が鈍い。2月22日の特売日は8時を過ぎてようやく混み合ってきた。地元客に混じり、日本人観光客も多く見られたが、10時を過ぎると20～30人ほどになり通路の混雑も感じられない。12時を過ぎるとこの状態も終わった。(小樽)

- 2月の取扱状況は、前年減の組合員店が大半で、小売業は年々取扱いが下降傾向と感じている店が多い。クレジット事業の移管から丸2年が経過したが、特筆する組合事業も行っていないことから3月末で退会する組合員店が1店ある。次年度も新たな組合事業の計画はなく、退会の動きが加速するのではと懸念している。
- 本社ビル老朽化から解体を行うこととなり、移転作業に迫られた。販売事業3部門の旅行業は、新規法人から団体旅行や出張の受注など良好な取引ができています。携帯電話販売業については、他社からの乗り換えが目標値を下回り、ポイントを稼げず苦戦。保険業は、時間をかけて提案し続けてきた生保契約がコンスタントに成約できた。(釧路)

- びばい応援券販売により、2月は売上が各店上昇。(美唄)

- 今月は春節期間ということもあり、中華圏や引き続き東南アジア圏からのインバウンドで週末・平日問わず連日賑わいを見せていた。一方で、オーバーツーリズムにより、ルールを守らないインバウンド客も目立ってきており、駅前の立地もあって道路の真ん中での写真撮影や車道の歩行、レンタカーによる逆走など危ない場面も目にするようになってきている。
- 函館市教育委員会の生涯学習事業の受入会場として開校している、おでりハ「函館市シニア大学」朝市校も今月27日で3年目

の全日程が終了した。この取組は、地域のシニア層を対象にフレイル予防の3つのポイント「運動」・「食事」・「社会参加」を中心に「知・脳」・「カルチャー」・「ショッピング」・「ランチ」など楽しみながら知識や教養を身につけ、仲間づくりを通じて生きがいのある生活を実現し、日常社会にも活用できるプログラムとなっている。そして、その一環として参加ポイントを設け、獲得ポイントに応じて函館朝市の加盟店で利用できる商品券(500円分)をプレゼントしているが、その商品券の期間中の利用額が35万円以上となり、経済規模では5～6倍ほどの消費効果が見られたように感じている。観光経済規模に比べるとまだまだ低いが、それでも近隣では大型スーパーが軒並みオープンする中で、ここ函館朝市をご利用いただき、地域の方々にご愛顧いただいていることを実感している。

(函館)

- 2月は前半の雪まつりで、昨年より倍の客入りがあり、ホテル・観光はかなり売上が伸びた。ちょうど春節の時期と重なり、インバウンドの客も増加。
- 入荷は厳しく、生魚は雪の影響もあり入荷不安定。冷凍のタコ、サーモンの価格は毎月値上がりで利益が厳しい。
- ガソリンの値上げが厳しい。米の価格の値下がりも期待する。

(札幌)

- 売上前年比94%。売値上昇による買い控えの影響もあり前年割れした。

(札幌)

- 2月は、和商市場として閑散期になるが、先月同様、インバウンドの入店客が昨年より大幅に伸びてきている。2月14、15日に和商の日を開催し、地元のお客様の入店が多くみられた。地元のお菓子屋さん和商市場のパン屋さんのコラボで、フルーツサンドを販売し大好評であった。最近の傾向として、市民サークルの催事出店が賑わいをみせている。

(釧路)

- 年明け1月の市況と比べると2月はやや落ち着いていた。

(札幌)

- 決算期を迎えて組合員間では増収増益が見込まれるが、物価高騰で帳消しになっている。また、人手を確保することができず苦勞している。

(全道)

- 国から町への交付金で、プリペイドプレミアム40%アップ事業を実施したことにより、昨年と同じ程度の売上高となった(昨年同時期プレミアム20%アップ)。

(斜里)

商店街

- 外国人の来訪者が多く、飲食業が好調に推移しているが、物販業は前年並みであった。

(網走)

- 雪まつりを中心とした本格的な観光シーズンのこの期間、インバウンドのさらなる増加もあり、都心部商店街については売上の増加が見られたが、地域の商店街では物価高の傾向が続き、売上の伸びは見られていない。札幌においてもインバウンドの増加によるオーバーツーリズムの問題が発生しつつあり、都心部からの新千歳空港行きや定山溪温泉行のバス停には、スーツケースを持った外国人の長い列ができています。定山溪行きの路線バスでは、市民の途中の乗り降りが大変な状況にもなりつつあり、市民生活にも徐々に影響が出始めている。

(札幌)

サービス業

- 全国レベルでの受注契約総額は、公共事業に匹敵するほどの民間事業者からの受注も多くあるため、4月からの累計で前年度と比べて10%以上増加している。一方、北海道では大半の事業を公共事業に依存しているため、前年同月比で数%程度減少している。加えて人件費、燃料費、消耗品、材料費が上昇しているた

め、収益もその影響を大きく受けており、改めて民間事業者からの受注拡大に向けての営業活動が望まれる。

(全道)

- 季節から燃料の消費増に加え重油値上げ。光熱費等の消費は増大であり、消耗品等営業に係る経費が依然として大きく営業状況は厳しい。また、除雪等重労働も加わり体力的にも厳しい。

(全道)

- 道内企業全体の後継者不在率は65%強で、全国4番目に高いと言われている。好業種と言われている道内中小IT企業約880社でも、高齢化による後継者不足が同様の傾向で、経営課題として捉えられているが、このところ、仲介会社を活用したM&Aや社内昇格で回避するケースが増えている。しかし、最大の経営課題は相変わらずの人手不足で、2024年度の道内中小IT企業の業績は、その影響で増収企業が6割で、3割が減収になると予測されている。減収の原因は案件単価への価格転嫁がまともにできていないことと、人手不足で案件受注ができない機会損失が主たる原因。そのため、2025年度も賃上げの継続は不可避であることや、物価の上昇も避けられないことから、増収に必要な人材の確保や生産性向上のために専任部隊を配置して、新卒者採用だけでなく、プログラム開発への生成AIの積極的な導入、業務効率の改善のための自社内DXの推進、SNSの活用によるギガワーカーや副業SEの全国規模での採用、未就業の専業主婦IT人材の高賃金での戦力化採用等への取組を思い切って進める道内中小IT企業が出始めている。

(全道)

建設業

- 原材料費の増加は、落ち着いた兆しもうかがわれるが、今後の推移を注視する必要がある。また、人件費の増加が続いており、収益への影響が生じているほか、雇用人員不足による事業への影響も出ており、新たな事業獲得が難しい状況にある。4月からの働き方改革の対応に苦慮している。

(札幌)

- 本市における降雪状況は年々変化しており、大雪、低温、暖気が繰り返され生活環境の変化に苦しめられている。除排雪環境は、今年度から始まったGPSによる出勤実態により対価が決定するため、シーズン終了後の結果が気になることであり、かつ、エネルギーの高騰が足かせになっている。エネルギーの高騰や資材の高騰など、経営に及ぼす影響が懸念される。また、賃金の上昇にどのように対応できるのか、雇用確保はもとより、離職対応も大きな懸念材料。

- 地域の実情としては、エネルギーの高騰や諸物価高騰の影響が顕著に表れている。本市は、冬の雪を核としたスポーツの振興に力を入れており、年度の遅くまで雪が残る特徴を活かしてノルディックの大会を誘致し、3月初旬のノルディックスキーのジュニアオリンピック開催の準備を進めている。

(名寄)

運輸業

- 異常気象による通行止め等で時間がかかり、貨物の遅延や、フェリーの延着により時間が読めないなど、不要な経費がかかっている。

(小樽)

- 2月は荒天のためフェリーが欠航し、十勝地区の大雪のため輸送が滞った。運賃は上がっているため売り上げは増加しているが、燃料等の高騰により収支は厳しい。日用雑貨や食料品等を除き、全般的にモノの動きは良くない。住宅着工件数も減少しているため、関連資材の輸送量の減少が続いている。

(全道)

- 農産物については、例年並みの荷動き。一般カーゴも例年並み。次世代半導体工場関連の貨物は前月同様落ち着いている。1月下旬からの大雪の影響で、除排雪に使用されるダンプの稼働が増えた。

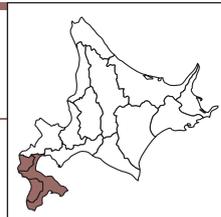
(石狩)

支部だより



道南支部(函館市)

所管／渡島総合振興局・檜山振興局管内
駐在職員／津川事務所長・齋藤主事



～お店が選ぶ自慢の逸品～

**函館朝市・一店逸品ブランド「セレクト朝市」が
リニューアルしました!!**

函館朝市協同組合連合会の加盟店約 150 店舗の中から、「商品力」、「独自性」、「函館朝市らしさ」、「信頼性」という 4 つの認定基準をクリアした商品・サービスを「セレクト朝市」として認定しており、認定された商品は、函館朝市・一店逸品ブ



ランド「セレクト朝市」パンフレットに掲載されています。

今回、本会の補助事業である、取引力強化推進事業を利用して、このセレクト朝市パン

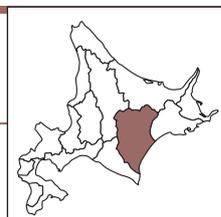
フレットをリニューアルしました。厳選された最新のセレクト朝市がより見やすく改良され、現在、函館朝市ひろばに置かれているほか、ホームページからも閲覧・印刷することができます。

この補助事業は、小規模事業者の連携による取引力強化促進を図るため、組合員の 2 分の 1 以上が小規模事業者である組合等が行う、組合や組合員の事業 PR などを目的としたホームページやパンフレット作成・リニューアル等の取組に対して助成する事業となっております。ご興味のある方は、地域の中央会事務局までご連絡ください。



十勝支部(帯広市)

所管／十勝総合振興局管内
駐在職員／中條事務所長・川上主事



第 67 回本別山溪つつじ祭りが開催されます!

4 月 27 日(日)にエゾムラサキツツジやエゾヤマザクラが咲き誇る義経の里本別公園で、本別山溪つつじ祭りが開催されます。



祭りでは、町内の飲食店の出店やつつじの即売会など、たくさんの催しが行われる予定です。

また、子供たちが飛び跳ねて遊べるふわふわの遊具や、溪流魚の放流・釣りなど、楽しめるイベント、会場を盛り上げる

ステージショーのほか、ビンゴ大会も実施される予定となっています。

来場にあたり、約 500 台分の駐車場(無料)も用意されているので、車でも安心してお越しいただけます。

ぜひこの機会に、つつじや桜の咲き誇るなか、多くのイベントが楽しめるお祭りに来てみてはいかがでしょうか。

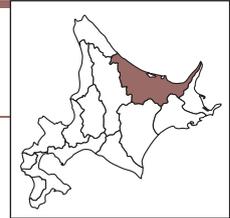
天候やその他の事情により、開催内容が変更となる可能性がありますので、詳細は、つつじ祭り実行委員会 本別町観光協会事務局(本別町未来創造課 TEL: 0156-22-2141)までお問い合わせください。





網走支部(網走市)

所管/オホーツク総合振興局管内
駐在職員/尾崎事務所長・靄田主事



網走市役所新庁舎が完成!!

網走市役所の新庁舎が完成し、令和7年2月25日より開庁しました。

今回は、その新庁舎をご紹介します。

新庁舎は、網走中央商店街振興組合のアーケードに隣接する形で建設され、地上5階建て、駐車場は72台分のスペースを確保しています。

設計・建設にあたっては、「人にやさしく市民に親しまれる庁舎」「防災拠点となる庁舎」「環境にやさしい庁舎」「まちづくりの拠点にふさわしい庁舎」をコンセプトに掲げています。

市民が主に利用する戸籍保険課などの窓口機能は1階と2階に集約し、来庁者の利便性を向上させました。また、内装には「網走産カラマツ」を使用し、温かみのあるデザインとなっています。

防災面では、耐震強度を基準の1.5倍に強化し、非常用発電機や貯水槽が整備されました。これによ

り、災害時外部からの燃料供給が途絶えた場合でも、72時間の業務継続が可能です。

さらに、最上階の5階にある議場は、津波の到来が予想されるときなど、周辺住民の一時避難スペースとして活用できる設計となっています。

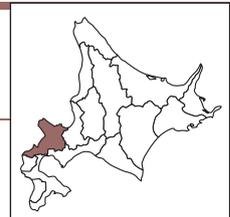
新庁舎の開庁により、市民の来庁が増え、商店街の活性化にもつながることが期待されます。



網走市役所新庁舎 空撮写真

後志支部(小樽市)

所管/後志総合振興局管内
担当/連携支援部 長谷川主査



第37回おたる運河ロードレース大会の開催

北海道を代表する観光地・小樽運河を舞台に、毎年多くのランナーが駆け抜ける「おたる運河ロードレース大会」が、今年も6月15日(日)に開催されます。本大会は小樽港開港90周年を記念し、平成元年に始まった歴史あるレースで、今年で第37回目を迎えます。歴史的建造物の石造倉庫が並ぶ小樽運河周辺を中心に、小樽港域内などを、爽やかな潮風を感じながら走ることができます。

今大会では、より多くのランナーに楽しんでもいただけるよう、年齢区分の拡充や新種目の追加が行われます。

○年齢区分の増設

10km種目および5km種目の年齢区分を細かく設定し、目標を立てやすくしました。また、小学校低学年の部を新設しました。



○ファンランの新設

中学生を除く15歳以上なら誰でも参加できる「ファンラン」

が新設されました。順位付けを行わず、気軽にランニングを楽しめるのが特徴です。コスプレや仮装での参加も大歓迎で、観光と合わせての参加もおすすめです。

○親子での参加が可能に!

保護者がファンランにエントリーすれば、小学校低学年のお子さんと一緒に同じコースを走ることができます。家族の思い出作りにぴったりの大会です。

ぜひこの機会にご参加いただき、小樽の美しい景観の中で心地よいランニング体験をしてみたいかがでしょうか。エントリー方法や大会の詳細については、専用サイトにてご確認ください。

おたる運河ロードレース大会のサイトはこちら
<https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2025012400028/>

中小企業大学校旭川校おすすめ研修のご案内

各市町村・金融機関・商工会議所・商工会等で助成制度があります。
概要は、旭川校のホームページをご覧ください。(右のQRコードからもご覧頂けます)



No. 301 次世代を担うトップリーダーを育てる

おすすめ

経営管理者養成コース



【研修期間】(インターバル研修：4日×6回)

- ① 2025年 7月1日(火)～7月4日(金)
- ② 2025年 8月5日(火)～8月8日(金)
- ③ 2025年 9月2日(火)～9月5日(金)
- ④ 2025年10月7日(火)～10月10日(金)
- ⑤ 2025年11月4日(火)～11月7日(金)
- ⑥ 2025年12月2日(火)～12月5日(金)

【対象者】経営幹部、経営後継者、管理者

【受講料】298,000円(税込)

研修のねらい

企業活動の中核を担う経営管理者として、質の高い経営を行うための総合的・創造的マネジメント能力の向上を図ることを目的として、実践につながる知識やマネジメント手法を体系的に習得します。

【研修の流れ】

- 第1回：経営戦略と経営計画・論理的思考
- 第2回：組織と人事管理・リスクマネジメント
- 第3回：マーケティングの理解とプロセス・ゼミ①
- 第4回：財務会計・管理会計・自社の財務分析・ゼミ②
- 第5回：事例研究・ビジネスゲーム・ゼミ③④
- 第6回：ゼミ⑤・成果発表会

“総合的マネジメント能力”をマスター

No. 5 決算書の読み方講座(財務初級編)

事例を通して楽しく学ぶ!

よく分かる財務の基本

5月13日(火)～15(木)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：管理者・新任管理者・その候補者



決算書の仕組みや用語の意味、数字の流れなどを理解し、決算書から経営体質や今後の課題などを読み取るポイントについて、モデル決算書を交えて学びます。

No. 6 ファシリテーション基礎講座

円滑に合意形成を図る!

納得感のある意思決定の導き方

5月20日(火)～22日(木)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：管理者・新任管理者



組織の力を最大限に引き出し、合理的で納得感のある意思決定や問題解決に導くファシリテーションの意義と効果を理解し、職場での実践ポイントを学びます。

No. 7 若手リーダー研修(5月開講)

周囲を巻き込み、成果を上げる!

リーダー養成講座

5月27日(火)～29日(木)

受講料：32,000円(税込)

対象レベル：新任管理者・その候補者



若手社員がリーダーとしての自覚を持ち、周囲のメンバーに積極的に働きかけ、チームとして目標達成を推進していくために必要なスキルについて学びます。

No. 8 企業法務講座

札幌開催

企業法務とリスクマネジメントの勘所

5月27日(火)～28日(水)

受講料：22,000円(税込)

対象レベル：経営者・経営幹部・その候補者



法的トラブルを未然に防ぐための企業法務の基礎知識や考え方を習得し、多様で複雑なリスクに対応するリスクマネジメントのあり方について学びます。

講座内容詳細は 初めてのの方は

資料請求や講座内容についてお気軽にお問い合わせください。

電話 0166-65-1200 / FAX 0166-65-2190

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

住所 旭川市緑が丘東3条2丁目2-1

中小企業大学校 旭川校



安心の材料をご提供します。

小規模企業共済制度

●制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主（共同経営者を含む）または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

＼他にもこんな特徴があります。／

- ・月々の掛金は1,000円から
- ・契約者貸し付けの利用が可能
- ・共済金の受給権は差押禁止

退職金の準備を
中小機構が
お手伝いします



経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

1 掛金の10倍の範囲内で最高8,000万円まで貸付け

「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額（最高8,000万円）」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年（据置期間6か月を含む）で毎月均等償還です。

2 貸付条件は無担保・無保証人

共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けると貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。

3 掛金は税法上損金（法人）または必要経費（個人事業）に

掛金月額は、5千円～20万円の範囲内（5千円単位）で自由に選べます。

取引先の倒産から
会社を守る制度です！



共済相談室 TEL. 050-5541-7171 【受付時間】平日 9:00～17:00

令和5年9月から
オンライン
手続き
スタート

制度の詳細な内容は2次元コード又はホームページからご確認ください。
ご要望の多い一部の手続きについてオンライン手続きが出来ます。





商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

札幌支店	〒060-0002 札幌市中央区北二条西 3-1-20	TEL : 011-241-7231
函館支店	〒040-0001 函館市五稜郭町 33-1	TEL : 0138-35-5022
帯広支店	〒080-0013 帯広市西三条南 9-23	TEL : 0155-23-3185
旭川支店	〒070-0035 旭川市五条通 9-1703-81	TEL : 0166-26-2181
釧路営業所	〒085-0847 釧路市大町 1-1-1	TEL : 0154-42-0671

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



北海道中小企業団体中央会

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 3階

TEL 011-231-1919 FAX 011-271-1109

ホームページアドレス <https://www.h-chuokai.or.jp>

発行日 / 2025年4月1日(毎月1日発行)

*この機関誌は、誰もが読みやすいユニバーサルデザインフォントと環境にやさしい植物油インキを使用しています。

